

製品名: CAD ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86979**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500
分子量	Calculated MW:243 kDa; Observed MW:243 kDa

抗原情報

遺伝子名	CAD
別名	CDG1Z; GATD4; EIEE50
遺伝子 ID	790
SwissProt ID	P27708
免疫原	ヒトCADの合成ペプチド

背景

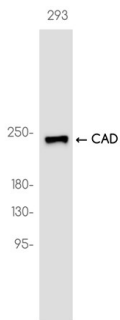
哺乳類細胞の増殖には、ピリミジンヌクレオチドの de novo 合成が必須である。この遺伝子は、ピリミジン生合成の6段階経路にお

ける最初の3つの酵素、すなわちカルバモイルリン酸合成酵素 (CPS II)、アスパラギン酸トランスカルバモイラーゼ、およびジヒドロオロターゼの酵素活性に関連する三機能性タンパク質をコードしている。このタンパク質は、ミトジェン活性化プロテインキナーゼ (MAPK) カスケードによって制御されており、MAPK カスケードの活性化とピリミジンヌクレオチドの de novo 生合成との間に直接的な関連があることを示している。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2015年4月]

研究分野

-

画像データ



CAD ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して 293 細胞抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。